

12月定例会 一般質問カジュアル Q&A

表紙で触れた通り、12月定例会では以下の項目について議論を交わしました。ここでは、そのうち4点について分かりやすく解説いたします。残りについては、ホームページで紹介させていただきますので是非ご覧ください。

- 1** スポーツ革命期における本県の挑戦について
(1) スポーツ2.0に対する理解と今後の展開
(2) eスポーツの普及
- 2** オーラルフレイル予防の推進について
- 3** ICTを活用した農業の効率化について
- 4** 多機関連携型タイムラインの策定について

- 5** ライドシェアの課題と今後の対応について
- 6** 若者施策の充実について
(1) 子供たちの安全・安心なインターネット利用
(2) 高校進学時および在学中における発達障害支援
- 7** 教員の人権意識の醸成について

1 **Pick up**
Q バーチャルリアルティやeスポーツなどのデジタルテクノロジーを活用した新たなスポーツ体験を意味する「スポーツ2.0」が進んできている。スポーツ人口が頭打ちとなる中、新たな層の掘り起こしに繋がる「スポーツ2.0」に対する県の見解と、eスポーツの普及に向けた施策について伺う。

A 「スポーツ2.0」を活用することにより、スポーツ参画人口の拡大が期待されるほか、通信機器、コンテンツなどの産業面においても発展が期待できる。eスポーツにも若者を惹きつける魅力があるため、県としては関係団体の普及促進に向けた取り組みを積極的に支援するとともに、県内外の状況を調査するなど情報収集に努め、幅広く研究していく。

4 **Pick up**
Q タイムライン(防災行動計画)は、その有効性が確認されており、減災効果が期待できる。県内の河川においても少しづつタイムライン策定が進んでいるが、その多くが避難勧告着目型タイムラインであり、企業やライフライン等まで関係者を巻き込んだ多機関連携型タイムラインの策定が待たれる。今後の展開について伺う。

A 風水害から県民を守るためには、確実に避難を呼び掛けることが重要であり、まずは避難勧告着目型タイムラインの策定を促していく。その上で、地域の実情に応じて防災行動の範囲を拡大し、より実効性の高い多機関連携型タイムラインに移行していくよう働きかけていく。また、これらを活用した大規模な訓練の実現に向けて検討もしていく。



2 **Pick up**
Q 口の働きの軽度な衰えを意味する「オーラルフレイル」を予防することは、健康寿命延伸にとって重要である。昨年、私が所属した厚生委員会では要望した結果、第2次静岡県歯科保健計画にオーラルフレイル予防が盛り込まれることになったが、この計画に沿った今後の取り組みについて伺う。

A オーラルフレイル予防は、健全な食生活のためだけでなく、様々な病気の予防や高齢者の自立促進、認知機能の向上にもつながる大切な取り組み。今後は、より多くの県民の皆様を知っていただくよう、1万人を超える「8020推進員」の方々などに協力を頂き、県歯科医師会とともに様々な現場での普及啓発に努めていく。

6(2) **Pick up**
Q 幼児教育や義務教育段階での発達障害支援が手厚くなっている一方で、高校進学は実質選択制に限られているほか、在学中の合理的な配慮も十分とは言えない。本県では通級支援に力を入れ始めたが、神奈川県ではインクルーシブ教育実践推進校を指定するなど改革が進んでいる。実態把握や中高連携に力を入れてほしいが、今後の施策の展開について伺う。

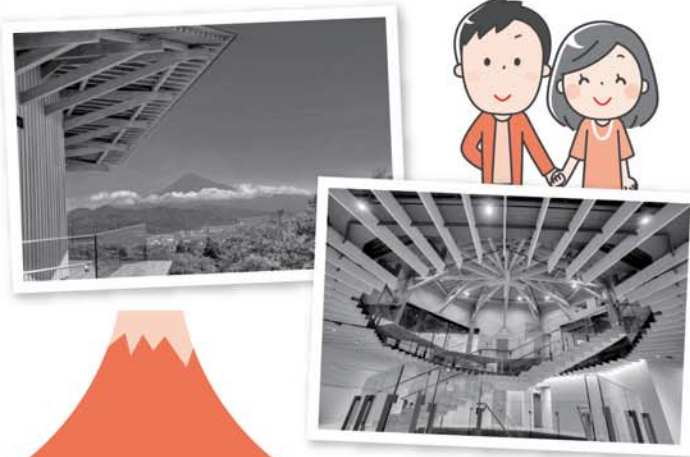
A 希望に応じた高校進学を可能とし、高校で自立に向けて学ぶには、教員の専門性の向上など受け皿となる高校における更なる支援体制の充実が必要。今後は、進路選択の参考となるよう、県立高校における取り組み内容をお知らせするとともに、通級指導の充実や教員の資質向上に取り組んでいく。

静岡県議会HPからは、質問の様子が録画中継で見られます。

是非、当日の雰囲気を感じてください！

地域のお便り

日本平夢テラス、晴れやかにOPEN!



去る11月3日、日本平山頂に新施設「日本平夢テラス」がオープン。これは、快適な眺望の提供や文化・情報を発信するなど来訪者をお迎えするための施設であり、県と静岡市が共同で整備されたものです。私も家族で訪れましたが、シンボル施設には県産材がふんだんに使われていて親しみを感じますし、そこから見える富士山、三保の松原、駿河湾、南アルプスなどの景色は静岡県民にとっては最高の一言。また、夜景もロマンティックでカップルにおすすめ。ぜひこの新名所にお出掛けしてみたいかをご紹介しますか！

地域を元気に!eスポーツ大会が大盛況!

サッカーの日とも言われる11月11日、静岡県Eスポーツ協会初の主催イベント「Shizuoka Esports Festival vol.1」が静岡市内で開催されました。今回は、今年の茨城国体の文化プログラムで採用される「ウイニングイレブン2019」のトーナメント大会を行い、プロ選手もゲストとして迎えるなど大盛況!今後も、県内各地でeスポーツシーンを盛り上げるとともに、地域の活性化に貢献できるよう努めてまいります。



第17号の発行にあたり

2019年の幕開けをいかがお過ごしでしょうか?今年は、元号が変わる大きな節目の年になります。総括の仕方が新しい始まりの仕方を決める。平成という時代を今一度振り返り、新しい時代に向けた準備を行っていきましょう。

そうした意味で、第17号では「アクションレポート」の改訂版を盛り込み、この4年間の歩みを振り返ってみました。新しい始まりを、スタートダッシュで駆け出せるように頑張ります。本年も宜しくお願い致します!



山崎真之輔プロフィール
◆ 37歳三児の父親
◆ 浜松北高等学校、名古屋大学法学部卒業
◆ 元衆議院議員 鈴木康友(現浜松市長)秘書
◆ 浜松市議会議員(2期6年間)
◆ 静岡県議会議員(2期目)
◆ 所属会派:ふじのくに県民クラブ
◆ 所属委員会:建設委員会 委員長
◆ 趣味:スポーツ全般、日本舞踊(花柳流)、読書、カラオケ、ボードゲーム、eスポーツ

しんのすけ伝言板

● 2月定例会のお知らせ

任期最後の2月定例会は、2月13日～3月8日まで開催されます。約1兆2,000億円にも上る来年度予算を審議する大切な議会です。是非ご注目下さい!

● 静岡県eスポーツ連合が発足!

日本eスポーツ連合の地方支部が静岡県に開設され、私も専務理事として関わることになりました。地方でのeスポーツ普及とそれによる地域活性化を目指し、2019年は飛躍の年にしたいと思います!



浜松市と静岡県を結ぶ!!若きカジュアル政治マガジン 静岡県議会議員

山崎しんのすけ 第17号 通信

2019年1月発行

本気が違う!!



山崎しんのすけ事務所 | 〒430-0852 浜松市中区領家1-11-21 TEL.053-461-1020 FAX.053-465-6982
ホームページ→ <http://www.shin-sk.net/> 山崎しんのすけ 検索

改選前ラスト!

一般質問に立ちました。



12月11日、この4年間の総括とも言える今期最後の一般質問を行いました。25分間という限られた持ち時間ではありますが、新しい概念を投げかけたり、防災や地域交通など身近な課題を訴えたり、教育問題に深く切り込んだりと、多岐にわたる質問を展開。当局からの答弁も前向きなものも多く、今までで一番充実した議論ができたと感じております。

この手応えを県民生活の向上に繋げられるよう、これからも引き続き県政に邁進してまいります!

篠原地区野球場構想が再始動!

平成28年3月から止まっていた時計の針が、ようやく再び動き始めました。今定例会で計上された篠原地区野球場に関する公園基本計画の策定予算(8,000万円)が可決。これを受け、地質調査や交通処理の検討、コンサル会社との契約などが順次進められていきます。大きな前進と言えますが、野球場の規模や形状等については今後の丁寧な議論が必要です。篠原地区全体をスポーツを軸とした地域の賑わい拠点とすべく、これからも強く関わっていききたいと思います。



山崎しんのすけアクションレポート改

2013▶2018

皆様の暮らしをより豊かでより良いものにするために、山崎しんのすけがこれまで取り組んできた政策と実績について「アクションレポート・改」としてまとめました。



防犯・防災



- ポリテクカレッジ浜松と連携し、**避難所運営での課題に焦点を当てた訓練**を実施しました。

- 文教警察委員として、**浜松西警察署**の早期設置を要望。2019年4月から開署となります。



- 災害後の早期復興を図るため、ICT-BCPの大切さを議会で主張。
- 「消防団の活動に協力する事業所等を応援する県税の特例に関する条例」の拡充を決めました。
- 危険度が増しているスマホ等を使う「**ながら運転**」について、代表質問で防止策の徹底を強く要請。
- 消防団14年、防災士9年の経験をもとに、地域の避難訓練で**防災アドバイザー**として貢献しています。

産業



- EVシフトの大波に立ち向かうため、超党派での「**宇宙航空・先端産業振興推進議員連盟**」を設立し、私が**幹事長**に就任しました。

- 市場膨らむ**ヘルスケア産業**への積極支援を強く要望。



- 人材育成を切り口とした**航空機産業の醸成**を提言し、ブラジル航空技術大学等との交流が促進。
- 農業の**効率化**を図るため、ICTを活用した水管理の省力化を応援しました。
- 「**中小企業者の受注機会の増大による地域経済の活性化**に関する条例」の策定に大きく貢献。



健康福祉



- 慢性疲労症候群の正しい理解と患者への支援を広げるために、**ライトアップイベント**を実施。

- 高校生までの**医療費助成**の拡大が実現。残る課題は、政令市との財政負担協議。



- 医療費削減の一手、**オーラル(口腔機能)フレイル予防**が県歯科保健計画に反映されました。
- 若者の自殺**を止めるため、ネット社会対策の重要性を指摘。



- 不妊治療支援のあり方**を質問し、支援策の充実強化に繋がりました。

くらし・観光



- 馬込川の大規模氾濫への**減災対策**を提言し、ソフト・ハード両面の対策が進展しました。

- 本県で頑張る**技能実習生**のために、全国で初めて日本語教育を実施。



- 観光を基幹産業に。会派提案の「**観光振興条例**」の成立に貢献。
- 富士山登山ルート3776**に挑戦。富士山をいつまでも世界遺産に。
- 官民協働による**佐鳴湖の環境改善**を応援。
- 公共工事の生産性を上げるために、**ICT施工**の推進を要望。



教育



- 会派提案による「**子どもいじめ防止条例**」が成立。社会総がかりでいじめを撲滅します。

- 高校進学時や在学中の**発達障がい支援**を強く要望。中高連携が少しずつ進み始めます。

- 2013年に起きた学力問題を受け、**教職員の多忙化解消**施策などの政策提言を毎年実施。
- 「ふじのくに**グローバル人材育成基金**」が、我が会派の条例案をもとに成立。
- 小学校PTA会長時に「**いじめ3ないプロジェクト**」を展開。その年の最優秀PTA活動賞に選ばれました。



文化・スポーツ



- 建設委員長として、篠原地区への**野球場構想**推進に尽力。減額されていた予算の復活が実現しました。

- 県内初の**eスポーツ**公式イベントを開催。議会でも取り上げ、eスポーツを通じた地域活性化を提言。

- 防潮堤の築堤中でも安全に**海岸へアクセス**できるよう、県と市の間に入り柔軟な対応を引き出しました。
- 「**レイクハマナ・トライアスロン2017 in 村櫛大会**」に参加し、完走を果たす。
- まちなかの賑わい創出のため、「**浜松エイサーどまんなか祭り**」を応援。



議会改革



- 若者の政治に対する関心を高めるために、**はままつ若者政治バル**を2回実施。

- 議会運営等改善検討委員会で精力的に発言し、ネット中継のテロップ表示と**県内高校への出前議会**が実現しました。

- 県民の理解を得られない**地方議員年金の復活に断固反対**。
- 議員と若者が気軽に交流できる場「ふじのくにカフェ」を会派主催で定期的に開催しています。
- 全国超党派での運動により、地方議員選挙における**選挙運動用ビラ**の頒布解禁を実現。

